

- ・巻頭コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(香川の大学生来所見学
ふれあいフェスティバル)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

208号/2025.3

Since 1984

「40年ぶりの帰還」

杉浦 良

「Tさん・・・お母さんが入っているお墓どうする？」

「・・・どうしよう・・・そう言われても・・・どうしたらいいかわからん・・・いところが昔の人で・・・早く亡くなったお袋のことを不憫に思って・・・立派なお墓、建てたんよ・・・でも長い間・・・お墓の管理料も払えてなかったし・・・」

「もしTさんに何かあれば、拝む人もおらんようになるわ・・・Tさんには、お荷物になっていると思うけど・・・オレが代わりを務める訳にもいかんし・・・いとこの叔母さんも少し前に亡くなったと聞いたけど・・・」



電話の応対も、ハンディを持ったメンバーさんが行っています

リユース商品に関するお問い合わせ、品物のお引き取りに関するお問い合わせ等、すぐにお答えできない内容のものについては、お名前とお電話番号をお聞きし、後ほど担当者からご連絡させて頂く形をとらせて頂いております。一般の事業所のようなスピーディな応対、スムーズなやり取りができない場合もあり、お忙しい中、大変ご不便をおかけするかもしれませんが、何卒よろしくお願い申し上げます。

「・・・もうあれこれ小言をいう人もおらんようになった・・・立派なお墓建てるくらいなら・・・わしにお金を残してくれたら良かったのに・・・なあ？・・・」

「・・・それはあかんは・・・もし残しておいたら酒代に代わって・・・今頃、同じ墓に入れられとるわ・・・世の中に二つ良いことない、河合隼雄もそう言うと思った・・・」

「・・・河合隼雄って誰や・・・えらい人か？」

「・・・まあそんなことはどうでもいいから・・・墓じまい、というのもあるけど・・・ただ、お寺さんには、お墓の撤去費用とか、色々払わんといかんし・・・どうする？・・・でも墓じまいしたら、毎年持ってってるお墓の管理料もいらなくなるし・・・お参りもしなくてよくなるわ・・・」

「バスに乗ってお寺さんに行くのも、もうしんどうなっとるし・・・そりゃいいなあ・・・でも墓じまいに、お金いくらかかる？」

「オレに言われてもわからんな・・・お寺さんに直接聞きに行ったら・・・なんなら車で乗せていくくらいは手伝ってやるけど・・・でもオレがお寺さんと交渉するのはあかん・・・」

「・・・そう言われても・・・どういったらいいか・・・うまく言えんし・・・どなんしよう・・・」

そんな会話を一年程かけて続けているうちに、本人が動き出す、その時が来ました。

「・・・80万かかると言われたけど・・・いけるん？・・・あかんわなあ・・・」そう言われてしょげて帰ったTさんに、値下げ交渉するよう、説得し続けました。しばらく時が流れ、本人が再度動き出しました。

「・・・半額にしてくれるって・・・」そう言いながら、喜んで帰って来ました。

ただ、それではTさんの生活が成り立ちません。事情を話し、再度頼み込むよう説得しました。しかし、このことがTさんの断念に繋がるかもしれません。

ところがある日のこと、苦悩から解放された表情が、そこにありました。

「・・・そ・そ・その半分でいいと、言ってくれました・・・」

「そう・・・Tさんの熱意が・・・とうとうお寺さんの心を動かしたなあ・・・それは良かった・・・」

しばらくして、Tさんを連れてお寺さんを訪ねました。車に乗って待っていると、領収書と一緒に、お母さんの骨壺を抱えたTさんが戻ってきました。

「何十年ぶり？」「・・・お袋が死んだのが、自分が30くらいの時だったと思うから、40年ぶり？かなあ・・・」

40年を経て、一人息子の両手に抱かれた母親の気持ちはどうだろうか？ふと、そんなことを思いました。あの世の母は、山あり谷ありの息子の人生を見るにつけ、ハラハラドキドキの連続だったでしょう。ただようやく、とりあえず何とかやれている息子を見て、少しは、ホッと胸をなでおろしているでしょうか。母の遺骨が、40年振りに、Tさんの暮らす部屋に帰ってきました。

(日々日常の出来事を、イメージ論として書かせてもらいました)

お知らせ

ふれあい フェスティバル

1月25日、阿波市のアエルワにて、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の西部地区にある作業所・事業所が実行委員会を組んで、第19回ふれあいフェスティバルが開かれました。

県内14カ所の作業所・事業所から150名ほどのメンバーが集まり、歌あり踊りあり、手話コーラスありクイズありの交流事業が展開されました。クッキー、ケーキ、手芸品からコーヒー、焼き肉のたれ、白菜やブロッコリーまである出店に、メンバーも食い入るように眺めていました。

聴覚障害者の就労継続B型事業所「麦」は、メンバー達が健聴者と難聴者に分かれ、どんな対応をしたらいいか？を当事者劇として発表してくれました。

「ほっとハウス」の踊り、「虹」の手話コーラス、「あわっこ」のハンドベル、各作業所・事業所から出題されたクイズ勝ち抜き戦では、「いたのあせび」のシフォンケーキが20名に渡されました。成人式を迎えた「アスカ」のメンバーには笠井会長から記念品とお母さんからの手紙が読まれました。

とかく自分たちの作業所・事業所だけに目が行きがちな今日この頃。小さな作業所・事業所が横に繋がることの大事さを改めて感じました。快く立派な施設を使わせて頂いた阿波市の方々にも感謝です。

香川の大学生来所見学

2月22日、今年も富島先生率いる四国学院大学の学生たちが研修に来てくれました。ここに来る前就労継続支援B型事業所「あっぱる」で昼食を食べ、山下所長の話聞いた後、当会に来てくれました。

小山所長が案内した後、太陽と緑の会の40年間を、画像を見ながら説明してもらいました。細かい話よりは、徳島県に作業所が一つもなかった40年前、精神障害や発達障害などという言葉すらなかった40年前。

『今』と比較しながら、「制度が整い福祉が進んだように思えるけど本当？今の福祉は持続可能？何のための福祉？」そんな視点を少しでも持ってもらえればと思います。午後4時半終了、途中徳島ラーメンを食べるとのことです。

月の宮通信より

徳島市郊外、お隣の神山町との境から1.5kmの場所にあり、イノシシや鹿も出没する、太陽と緑の会月の宮作業所の事務所（兼食堂兼台所兼休憩室兼更衣室）の暖房は、回収させて頂いたトヨトミ製の古いコンロ型石油ストーブです。

給湯も冬場のみ、50年程前に製造されたと思われる長府製の石油給湯器を使用します。

（冬場以外のシーズンは太陽熱温水器で賄っています）

この給湯器は今から40年程前に回収させて頂いたものを杉浦が修理し、当会の水道配管・電気設備・建築まで大いに貢献してくれた檜田さんが設置配管してくれたものです。

これらが優れているのは、持ち越しの灯油でも活用できることです。昨シーズンの古い灯油を今のファンヒーターや給湯器に使えばすぐに故障ですが、老兵2台は使えるのです。

本来の一石二鳥とはこのことでしょう。

Facebook よい

昨年購入した軽トラック（中古）は平成 27 年製、当会では一番新しいです。

今まで新車購入をしなかった訳ではありませんが、残念ながら生き残っていません。今一番古いのは平成 8 年製の 1.5 トンで、残りは平成 10 年代物。活動をスタートさせた頃は、安い中古トラックしか買えず、よく故障していました。

「・・・効率のことを考えれば、新しいトラックを無理してでも購入した方が、会にとって得だわ・・・」

一番お世話になった K さんが、アドバイスしてくれたことを思い出します。

ただ振り返ってみれば、しっかり直してくれる自動車整備屋さんさえいれば、古い車を直しながら乗ることの大切さを思います。「リユース・リサイクル」を標榜しながら、新しい車をどんどん導入することのヤバさも感じます。しかしそれもバランスの問題で、修理費用が高過ぎればそうもいきませんが・・・地域に根差した M 自動車さん、いつも有難う御座います。

2 月 18 日、今年 1 回目の消火訓練・避難訓練を行いました。年 2 回以上行うことが義務付けられています。昨年能登の大地震に始まり、四国界隈でも日向灘や豊後水道でも地震が発生したのは記憶に新しいところですが、南海地震がいつ発生してもおかしくない状況の中で、緊張感をもって訓練に取り組みました。

火曜日ということでお客様は少なめです。4 人の小さなお子様がお両親と一緒に買い物に来られました。おもちゃのコーナーに直行し、大はしゃぎです。お気に入りのポケモンのぬいぐるみを、それぞれ手にとってレジに持ってこられました。

「ぬいぐるみ、新品だと 5、6 千円もするんですよ。ここは安いので助かります」とお父さん。「そう言って頂いて嬉しいです」とレジ担当メンバーの A さん。

お米をはじめとする食料品の値上がり著しい中、育ち盛りのお子さんが 4 人もいらっしゃって、家計のやりくりが苦労されていることと思います。またご家族皆様さんでお越し頂ければと思います。



太陽と緑の会からの助成報告

第61回太陽と緑の会福祉事業団からの助成
徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金
(古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、
廃食油1キロに対して20円) 令和5年度前期分(令和5年度後期配分)7万100円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んで
おられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

①障害者地域福祉活動への助成

NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター(地域活動支援センターの運営など)
3000円

②社会福祉活動への助成

徳島いのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺予防協会)(電話による相談活動)1万円
大阪釜ヶ崎希望の家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)3000円

③国際協力活動への助成

ペシャワール会(アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画)5000円
徳島県国際交流協会 1万円
モヨチルドレンセンターを支える会(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)4968円

④環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会(川を守り、水を活かしたまちづくり) 3000円

⑤その他の活動への助成

ハートフルゆめ基金(ハートフル社会貢献基金)1万円

⑥災害支援

能登半島地震災害義援金(日本赤十字社)1万円

能登半島地震緊急支援(ハートフルゆめ基金とくしま)1万円

支援金振込手数料1032円

次期繰越100円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、31年間で累計1639万6156円の助成を行ってきました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2024 年 12 月 1 日～2025 年 2 月 28 日 § （紙面の都合上、敬称は略させていただきます）

ご寄付を下された皆様

後藤、三好商事自動車部、田村、米田、西沢、板東、匿名（郵便振替口座）久米、中村、野田、匿名、森、匿名

品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

○徳島市○月岡、小間坂、福永、中川、坂東、香川、森、三久、山花、永廣、朝田、木藤、井澤、白石、森口、田中、藤岡、船戸、吉田、飛鳥、山内、新見、北井、棚次、梅本、楠、知野、福本、松尾、佐藤、柿本、久米川、佐々木、武智、日下、山田、本田、大原、福家、ほりえ、宮田、嵯峨山、河村、大和、山上、大出、粒山、鯨島、田村、橋本、野口、米田、南、板東、松下、桂、馬詰、真鍋、松下、鎌田、南、藤本、窪川、原、大野、貝出、井筒、三浦、富永、土内、鏑形、五藤、福永、多田、林、長尾、近藤、阿部、木ノ桐、岡本、八木、河崎、河野、浜田、長澤、南浜、高橋、寺井、吉岡、藤田、松原、桑原、細川、河村、藤森、武知、松原、五十嵐、杉内、橋本、樋口、花田、栗飯原、峯、(株)クラッシー、高里、厚美、天野、安友、宮井、斉藤、ハザマ、内田、久保井、岩崎、照本、北、浅井、姥、坂野○石井町○平川、尼守、田面、今田、田中、井内、寺澤、稲益、上松、リ、アローン、筒井、宮本、川田、吉田、中村、浅井、青木、渡辺、中島、寒川、稲実、佐藤、サトウ○吉野川市○藤原、寺尾、田中、中西、松浦、木村、佐川、大須賀○小松島市○三宅、渡部、井上、岩本○板野町○東條、大西○神山町○佐野、松村、河野、畔永○上板町○川崎、漆原、川越○藍住町○山橋、川人、中村、河野、犬伏、中原、安芸○阿南市○林、原、渡部○鳴門市○新口、高田、阿部、馬居、森脇、榎本、渡辺、林、平野、斉藤、安宅○北島町○森出○美馬市○松茂町○井村○佐那河内村○村本○阿波市○後藤、井村、緒方○長野県○吉川○香川県○松村○福岡県○永峰○兵庫県○太田○静岡県○杉本、中村○愛知県○松浦○東京都○三木、小山○大阪府○吉岡、森○埼玉県○亀倉○その他○寺内

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○大櫛内科、岡田、西、中川、新見、小林、杉山、論田小学校、磯塚、佐々木、中野、井東、応神小学校、佐藤、金原、川崎、橋本、青木、大櫛、藤田、佐川、大西、山本、オオスミ、西木、市原、高橋、水谷、中尾、三木、鈴木、万田、岡、佐野、小田、山下、河野、森、山西、宇治製薬、中田、横田、遠山、グループホーム菜の花、菊池、安藤、穴吹ハウジング、高橋、石部、相原、四国大学、土肥、西谷、森田、渡部、曽川、岸本、三田、中村、岸、吉村、中広、金山、岡本、八木、村部、後藤、福田、太陽堂薬局、美馬、平岡、宮本、齋藤、坂東、後藤田、出口、福永、大北、津田、金沢ガラス、安宅、明石、谷、中西、片山、河崎、赤川、吉川、常井、小泉、宮越、岡久、村岡、清水、吉田、新井、横山、和西、松内、平尾、伊藤、湊、住友、岸田、土肥、山西、加地、福田、ナガシ、鈴木、鈴江、三宅、長野、渡辺、田村、小川、コジマ○鳴門市○久龍、三木、大黒、前田、アオアヲ鳴門リゾート、清部、竹中、大和、村田、米田○石井町○三木、友成、内村、阿部、久次米○小松島市○木下、小野木、中村、儀宝、酒井、植松○藍住町○中島、井原、秦、花木、小原、真田、谷本、渡辺、佐賀、仙波、野本、里見○板野町○板東、エコリース○北島町○江口、米田○上板町○中島、渡部○吉野川市○岡田、松家○松茂町○井村

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。旬のお野菜や柑橘類の果物、自家製のお漬物を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子を下さった皆様も有難うございました。お野菜は作業所の食材として大切に使用させて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

GW 休み・定休日

4 月 Apr.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5 月 May

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

GW 休み
4/23(水)～
5/4(日)

※白抜き数字の日が
お休みの日です

「働き方改革」という
時代の流れに鑑み、
当会も以前よりお休
みの日を多くさせて
頂いております。

当会をご利用頂く
皆様にはご不便をお
かけすることになる
かと思いますが、宜し
くお願い致します。

6 月 June

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 月 July

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

編集後記～麦を食べばいい？

一人暮らしで自炊しているメンバーの A さ
ん。値段つけの作業をしながら話をしてい
たら、食料品の値段が上がって大変という話に
なりました。

「実は最近はお米に麦を混ぜて炊いているん
ですよ。最近お米も(値段が)高いでしょう。
節約しないとやっていけないです」

と A さん。

同じく一人暮らしの B さんも、もち麦を混
ぜているとのことでした。

昨年からお米の価格が高騰しているおコメ。備蓄
米 21 万トン放出が決まりましたが、近所のド

ラッグストアでは 5 キロのあきたこまちが
4000 円から 4400 円に値上がりしました。
ちなみにあきたこまちの下にはアメリカ産
のカルローズ米が 5 キロ 3500 円で並んで
おり、おコメの左隣には、もち麦、押し麦な
ど麦がずらりと並んでいます。

白米が 5 キロ 4000 円前後となる一方で、
押し麦は 5 キロ 2000 円で売られています。
農家の方からは「経費を考えれば、今ぐら
いが適正価格」との声もあるようですが…

ちなみに太陽と緑の会でも昔は(栄養面
でのことも考慮して)昼食のご飯は白米に
押し麦を混ぜて炊いていました。

「所得に応じて、所得の少ない人は麦を多く食う、所得の多い人はコメを食うというような、経済の原則にそったほうへ持っていきたいというのが、私の念願であります」

大蔵官僚出身の池田勇人大蔵大臣(後の首相)のこの発言が「貧乏人は麦を食え」との見出しで報道されたのは、今から75年前のことです。

当時は、その後の高度経済成長によって国民の暮らしも経済的に豊かになりました。

しかし少子高齢化が急速に進む令和の時代、同じことを期待するわけにもいきません。

「お金がない人は麦を食べればいい」

長年減反政策を続けてこられた政府の皆様がそのように考えておられるのかどうかは分かりませんが、「貧乏人は麦を食え」と言われた時代に帰っていくのでしょうか。

もっとも令和の時代は「麦を食え」ではなく「パンや麺(めん)を食え」となるかもしれません。「麦を混ぜてまで米を食べるくらいなら、パンや麺(めん)類の方がいい」という方も多いでしょうから…

おコメの価格高騰で子ども食堂さんやフードバンクさん、児童施設の皆様からも、「大変だ」とのお話をお聞きました。

裕福な家庭に生まれるか、経済的に厳しい家庭に生まれるか、で、子どもの人生はまったく違ったものになります。お金のない家庭の子どもは主食のおコメすら十分に食べられない。これは子ども本人の努力とはまったく関係のない、ただの「運」です。

貧困の問題に草の根で地道に取り組んでいる皆様がおられる一方で、「貧乏なのは政府の責任ではなく己の努力、やる気、能力が足りないから」と公言する方もいます。

政治が「むき出しの資本主義」に飲み込まれたら、セーフティネットは崩落します。

市場競争の敗者が市場からの退出を迫られるように、弱肉強食の生存闘争に敗れたら社会からの退出を余儀なくされる。

「貧困大国日本」のそのような未来が、刻々と近づいているように思えてなりません。(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1 万円 (総会議決権)

準会員 1,000 円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会